

# 保守・点検要領

## ○チェーンの張り調整について

チェーンの張り具合は、下水平フレームの上側のチェーンにて確認を行います。

チェーンを手で持ち上げチェーンとチェーンガイドレールとの間に 20 mm程の隙間が空くのが適切です。

チェーンを張り過ぎますと、トルクが増大し、過負荷に対する安全装置（トルクリミッター）が作動したり、チェーンローラーの摩耗が促進されます。

また、張りがゆるすぎますと、バケットの脱落等のトラブルの原因となりますので注意して下さい。

チェーンを張る際は、必ず左右のチェーンの“バケット取付用バーピン”の平行度を出すようにテークアップにて調整して下さい。（図. 1）

図. 1

